



学校だより 10月

横浜市立新井小学校
No. 515
令和3年9月30日
TEL 383-3455
FAX 381-7372

(URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/arai/>)

多様な学びのために

校長 鈴木 由香里

町の中を歩くと金木犀の香りが漂い、ススキの穂も見られるようになり、秋の深まりが感じられます。緊急事態宣言が解除されて、ようやく10月4日から子どもたちの一斉登校が始まります。およそ二ヶ月ぶりに全校児童が揃うことになり、教職員一同、ほっとしているところです。分散登校期間中は、子どもたちの生活リズム維持や学習支援などについて、保護者の皆様にもご協力をいただきました。ありがとうございます。10月8日には前期の終業式を迎えますが、学習の遅れを取り戻しつつ健康管理にも十分注意を払いながら、子どもたちが安全で安心して過ごせるよう学校運営を行って参ります。引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。



「家にいる〇〇さん、おはようございます。元気ですか。」

「みんな、先生の声が聞こえていますか。見えていますか。」

分散登校期間中に行われた、オンライン朝の会でのやり取りです。登校グループと自宅学習のグループをつないで朝の会は、少しでも人と繋がることが子どもたちの安心につながればという願いと、生活リズムづくりのために行われました。初めは、担任も子どもも戸惑い気味でしたが、慣れてくると声も表情も明るく柔らかくなり、スムーズにオンラインでの交流ができるようになりました。とにかく子どもたちの物覚えの良さには驚かされました。

iPadの使い方を登校日に習い、家庭学習の日に試してみることを繰り返すうちにできることが増えていきました。取り組み方は学年の状況に応じて異なります。先生から出された簡単な課題に取り組む1年生から、オンライン授業に取り組む6年生まで様々です。結果として実施時間の違いはありますが、どの学年もオンライン授業に取り組むことができました。きっとお子さま以上に、保護者の皆様の方がハラハラ、ドキドキしたのではないのでしょうか。ご協力ありがとうございました。また、オンライン授業を実施するために、授業や課題の準備に多くの時間を費やし、初めての事に積極的に取り組んだ職員にも感謝です。いつコロナ感染が広がり、登校できない状況になるかわかりません。そのための準備を、この分散登校期間中に行うことができました。前向きにとらえれば、iPadの使い方に子どもたちも教職員も積極的に慣れた期間とも言えます。これからも学びのツールの一つとして、ルールを守りながら授業の中で使っていきます。それが多様な学びの機会を増やすことにつながります。

前期の学校生活を振り返ってみると、春には「新井オリンピック」を行いました。例年通りのプログラムとはいきませんでしたが、コロナと熱中症の対策をとりながら無事実施できたことはよかったです。これから秋の行事が始まります。10月下旬の3年生の遠足に始まり、11月の6年生修学旅行、1・2年生の遠足、4・5年生の愛川宿泊体験学習と続きます。宿泊の保護者説明会はYouTube配信で行う予定です。緊急事態宣言が解除となりましたが、気を緩めることなく対策をしっかりとりながら、めざす学校の姿「子どもにとっても教職員にとっても楽しい学校」づくりを行っていきます。ウイズコロナの時代です。私たちは負けることなく、できることや方法を探りながら、勇気をだして挑戦していきたいものです。